



# 設置完了 チェックシート

確認日	年 月 日
確認者	

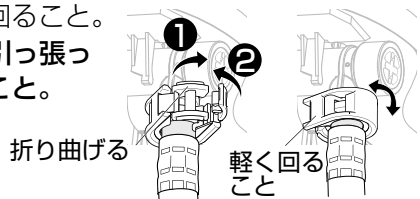
1□から7□を



◆設置完了後は、必ず以下のポイントをチェックしてください◆

## 1□ クイックファスナーを正しく取り付けていますか

- クイックファスナーが確実に固定されていること。
- 給水ホースが回らないように持ち、クイックファスナーが軽く回ること。
- 給水ホースを引っ張っても抜けないこと。



※クイックファスナーが正しく取り付けされていないと水漏れが発生するおそれがあります。再度、取り付け手順に従ってください。

## 2□ 止水栓を開けていますか

- 水道の元栓を閉めた場合は開けてください。
- 十分開いていないと洗浄強さが得られないことがあります。

## 3□ 水漏れしていませんか

- 水漏れがないか必ず確認してください。
  - 水漏れしている場合は、必ず止水栓を閉め、再度正しく接続してください。
- ※設置後および水抜き後の初回運転のみノズルの左（逃がし水口）から出る水は、水圧調整の逃がし水で故障ではありません。

## 4□ 電源は入っていますか

- 電源ランプは点灯していますか。

## 5□ リモコンを正しく取り付けていますか

- 直射日光や他の機器の熱の影響を受けやすい場所への取り付けは避けてください。
- リモコンは赤外線信号を送信しています。天井との間に棚などの障害物がないか確認してください。

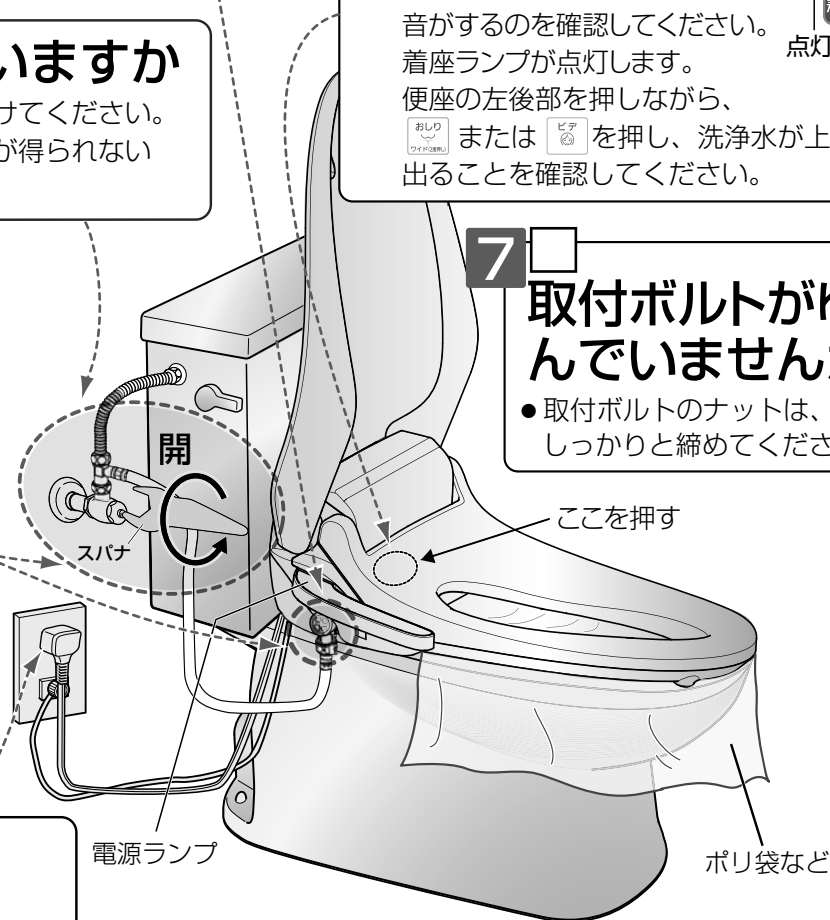
## 6□ 着座スイッチは正常に働きますか

- ポリ袋など便器にはさむ。
- 便座の左後部を押し、「カチッ」と音がするのを確認してください。着座ランプが点灯します。便座の左後部を押しながら、おしり（または）を押す、洗浄水が上に出ることを確認してください。



## 7□ 取付ボルトがゆるんでいませんか

- 取付ボルトのナットは、手でしっかりと締めてください。



配管方法などはイラストと異なる場合があります。

お願い ●試運転は、必ず行ってください。（18ページ）

# 設置工事説明書

**HITACHI**  
Inspire the Next

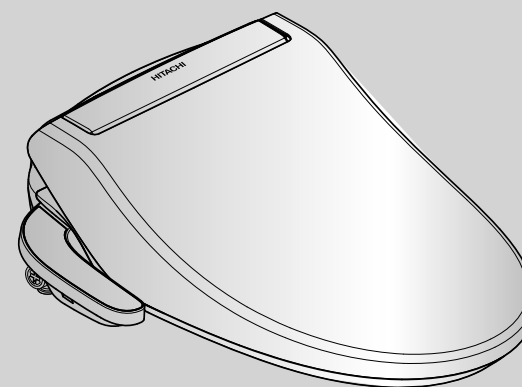
家庭用

## 日立温水洗浄便座

エッチ オー ビー 5 1 0 0  
型式 **HOB-5100**

## 目次

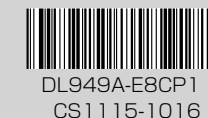
準備	■安全上のご注意……………2
	■設置の前に……………3
	■各部の名前と同梱部品の確認……………4
設置	■設置工事の流れ……………6
	■止水栓を閉める……………8
	止水栓がある場合 止水栓がない場合……………8
	■分岐金具（給水ホース付き）を取り付ける……………9
	初めて温水洗浄便座を取り付ける場合……………9
	既設の温水洗浄便座から取り替える場合……………10
取付	■本体を取り付ける……………12
	■給水ホースを取り付ける……………13
	■アース線の接続……………14
	■止水栓を開ける……………14
	■クッションを取り付ける……………14
	■リモコンを取り付け、電源を入れる……………15
	■人体センサーを取り付ける……………16
試運転	■試運転……………18
確認	■こんなときは……………19
	■設置完了チェックシート……………裏表紙



- 安全な工事をするために、この設置工事説明書に基づいて設置してください。工事終了後は、取扱説明書、保証書とともに大切に保管し、必要なときにお読みください。
- この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

日立コンシューマ・マーケティング株式会社 リビングサプライ社



〒105-8413 東京都港区西新橋2-15-12






DL949A-E8CP1  
CS1115-1016


# 安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお読みいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、過った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」、「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください


 <b>警告</b>	この表示を無視して過った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して過った取扱いをすると、人が重傷を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

-  この記号は、「警告」「注意」を促す内容があることを告げるものです。図の中には具体的な注意内容(左図の場合は一般的な注意)が描かれています。
-  この記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中には具体的な禁止内容(左図の場合は一般的な禁止)が描かれています。
-  この記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。図の中には具体的な禁止内容(左図の場合は一般的な強制)が描かれています。

## 警告

**D種接地工事を行う**

アース線接続  
アース工事がされていないと、漏電のときに感電する原因。

**電源プラグは根元まで確実に差し込む**

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しない。

**設置工事は、設置工事説明書に従って確実にを行う**

説明書に従って行わないと、水漏れ、火災、感電の原因。

**設置工事は、必ず同梱部品および指定の部品を使用する**

指定の部品を使用しないと、水漏れ、火災、感電の原因。

**電気工事は、内線規程に従って施工する**


内線規程に従わないと、火災、感電の原因。

**定格15 A・交流100 Vのコンセントを単独で使う**

他の機器と併用すると、発熱による火災の原因。

**コンセントのアース端子にアース線を取り付ける**

アース工事がされていないと、漏電のときに感電する原因。

**電源コード、電源プラグを破損するようなことはしない**

傷んだまま使用すると、感電やショートして火災の原因。

**ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない**

感電の原因。


**上水道以外には接続しない**

ぼうこう炎や皮膚の炎症などを起こす原因。腐食や異物付着による水漏れの原因。

**電池は誤った使い方をしない**

- $\oplus$ と $\ominus$ を逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池を一緒に使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない


液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因。

**水場使用禁止**

**バスルーム内など湿気が多い場所には設置しない**

感電や火災の原因。


## 注意

**水道工事などは、市町村の水道条例に基づいて行う**

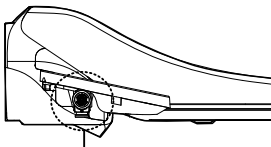
条例に基づいて行わないと、水漏れの原因。

**移動や設置時、本体を持つ**

便座・便ふたを持つと本体から外れ、けがをする原因。

**本体接続部は、落下等でストレスをかけない**

ストレスをかけると割れが発生し、水漏れの原因。



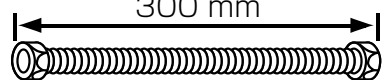
本体接続部

# 設置の前に

- お願い**
- 本体の取り付けが完了するまで電源プラグをコンセントに差し込まない。故障の原因となります。
  - 本体内の残水が凍結している場合は、本体を暖かい部屋に放置し、残水がとけてから設置する。
  - 必ず同梱の分岐金具をご使用ください。
  - 既設の温水洗浄便座から取り替える場合は、既設の人体センサーやリモコンは必ず取り外してください。(干渉して誤動作します)
- お知らせ**
- この商品は水道水を使って検査をしています。商品を取り出す際に多少の水滴が出ることがありますが、故障ではありません。
  - 使用水圧範囲は49～735 kPa、{0.5～7.5 kgf/cm<sup>2</sup>}です。
  - 便器の種類によっては、便座脚ゴムが便器の上に載らず、がたつく場合があります。販売店にご相談ください。

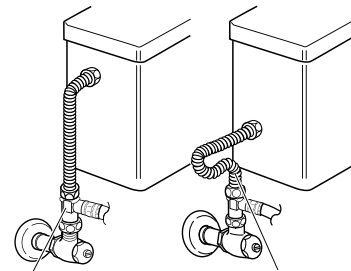
## ■給水管の長さの確認

同梱のフレキシブルパイプの長さは300 mmです。  
フレキシブルパイプは切断しないでください。  
右図のA寸法が、約150～330 mmの場合は、取り付けできます。  
上記以外で②③の場合は、部材購入が必要です。



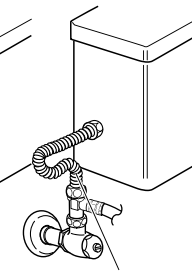
同梱のフレキシブルパイプ (給水管)  
300 mm  
← 口径: G1/2

①A寸法が約150～330 mm の場合の設置例

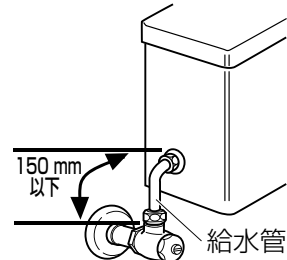


分岐金具 (同梱)


②A寸法が約150～330 mm 以外の場合  
ホームセンターなどで市販品を購入してください。



③給水管が短い場合または外れない場合  
A寸法が約150 mm以下ではフレキシブルパイプが曲げられず、取り付けられません。この場合、9ページを参照してください。



150 mm 以下  
給水管

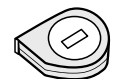


11ページのお願いを参照してください。

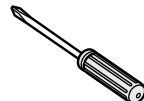
## ■リモコン、人体センサー取付位置の確認

リモコン、人体センサーを取り付ける位置は、15～17ページを参照してください。


## ■ご準備いただくもの




メジャー



プラスドライバー



モンキーレンチ

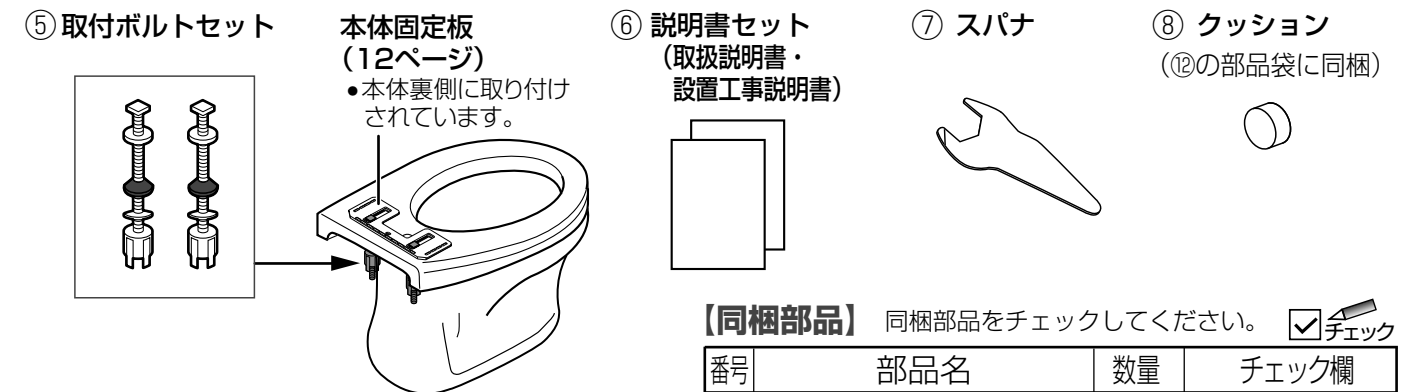
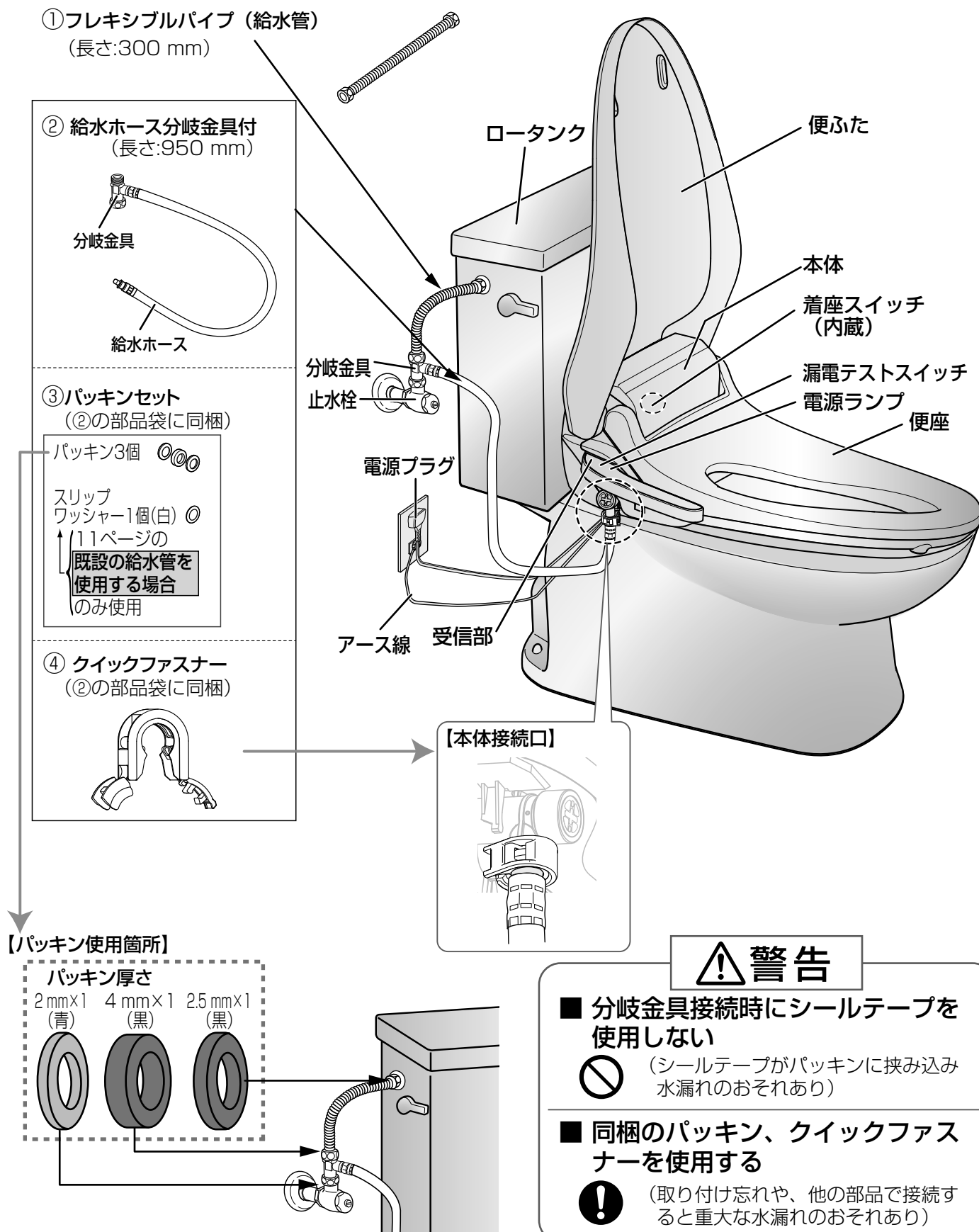


バケツ・ぞうきん

準備

# 各部の名前と同梱部品の確認

設置方法によっては、パッキンなど、使用しない部品があります。



【同梱部品】 同梱部品をチェックしてください。 ☒ チェック

番号	部品名	数量	チェック欄
①	フレキシブルパイプ（給水管）	1	<input type="checkbox"/>
②	給水ホース分岐金具付	1	<input type="checkbox"/>
③	パッキンセット （パッキン 薄い黒2.5 mm厚さ×1 パッキン 青2 mm厚さ×1 パッキン 厚い黒4 mm厚さ×1 スリップワッシャー（白）×1）	1	<input type="checkbox"/> （②の部品袋に同梱）
④	クイックファスナー	1	<input type="checkbox"/> （②の部品袋に同梱）
⑤	取付ボルトセット	1	<input type="checkbox"/>
⑥	説明書セット 取扱説明書 設置工事説明書	1	<input type="checkbox"/>
⑦	スパナ	1	<input type="checkbox"/>
⑧	クッション	1	<input type="checkbox"/> （⑫の部品袋に同梱）

⑨	リモコンセット （リモコン リモコンホルダー）	1	<input type="checkbox"/>
⑩	取付ねじセット	1	<input type="checkbox"/>
⑪	乾電池セット（単3形アルカリ乾電池）	1	<input type="checkbox"/>

⑫	人体センサーセット （人体センサー センサーホルダー 両面テープ）	1	<input type="checkbox"/>
⑬	取付ねじセット	1	<input type="checkbox"/>
⑭	乾電池セット（単4形マンガン乾電池）	1	<input type="checkbox"/>

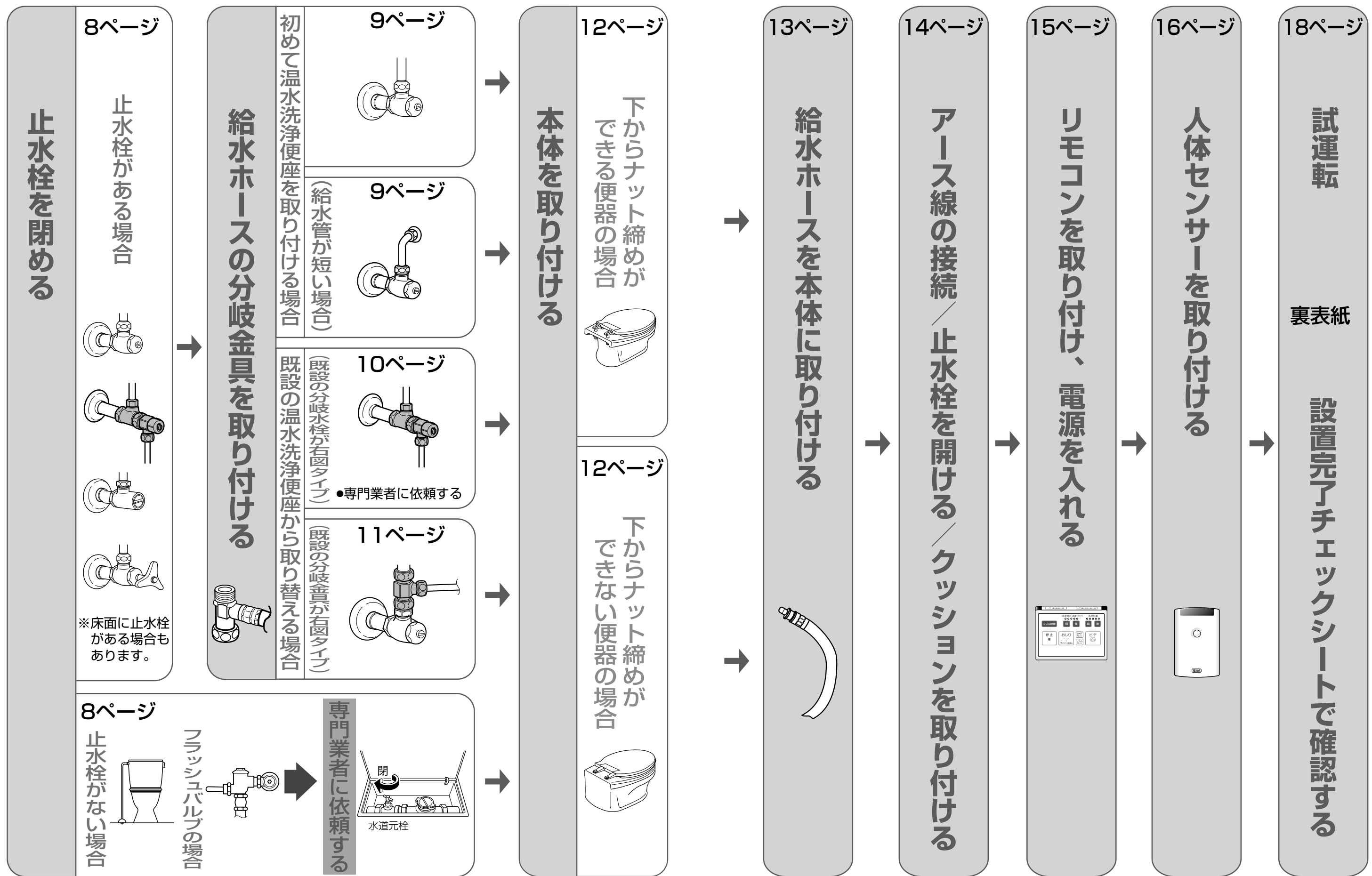
**お知らせ**

● 操作音について  
各スイッチを押すと、本体より操作音が「ピッ」と音がします。ただし、停止スイッチ、各スイッチの「切」設定時の操作音は「ピー」、操作を受け付けないときは「ピピピ」と音がします。

⑩⑬の取付ねじセットは共用です。

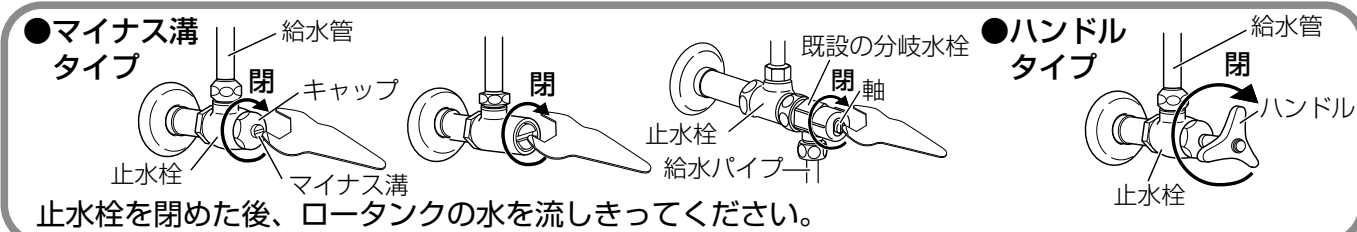
準備

# 設置工事の流れ



# 止水栓を閉める

## ■止水栓がある場合



9~11ページ

分岐金具を取り付ける

## ■止水栓がない場合 → 設置については専門業者に依頼してください

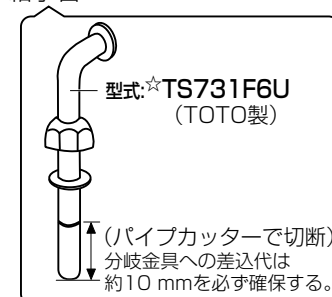
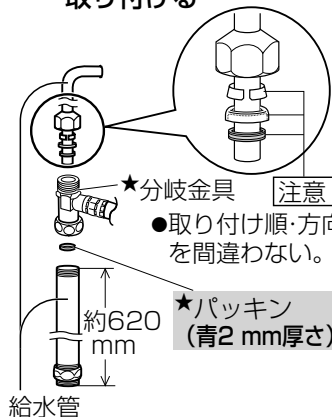
### 分岐金具を取り付ける

〈分岐金具の締め付け方〉  
→9ページ参照

★は、同梱部品です。  
☆は、別売品です。  
ご購入された販売店へお問合せください。

寒冷地用の給水管(止水栓なし)から給水する場合

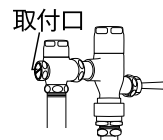
- 1 水道の元栓を閉める
- 2 給水管に分岐金具を取り付ける



フラッシュバルブから本体へ給水する場合

TOTO製の場合

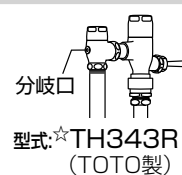
- 1 水道の元栓を閉める
- 2 フラッシュバルブ用アダプターを取り付ける  
●右図のような取付口がある場合、アダプターは不要です。  
●取付口がない場合は、別売品のアダプターを取り付ける。



〈☆別売品：フラッシュバルブ用アダプター〉

フラッシュバルブの形状などにより、使用するアダプターが異なります。

フラッシュバルブの止水栓に、分岐口がある場合

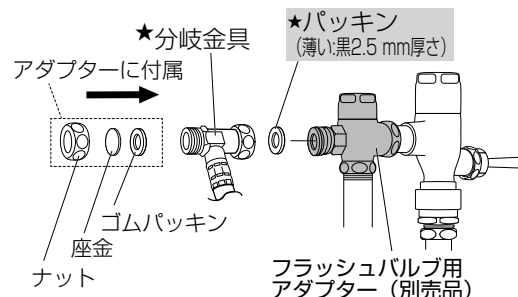


フラッシュバルブの止水栓に、分岐口が無い場合

普通形フラッシュバルブの場合  
型式:☆TH502-1R (TOTO製)

節水形フラッシュバルブの場合  
型式:☆TH347-1R (TOTO製)

- 3 フラッシュバルブ用アダプターに分岐金具を取り付ける



詳しい取り付け方法は、別売品の説明書を参照してください

◎取付後、水道の元栓を開けてください。

12ページ

本体を取り付ける

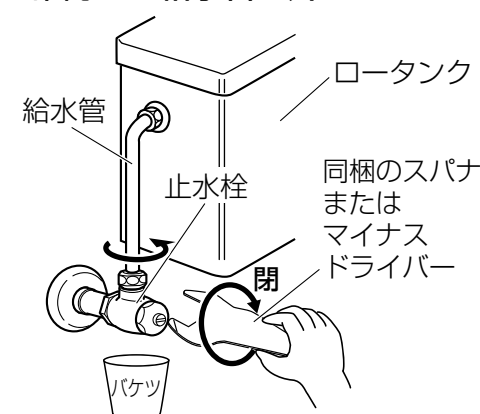
初めて温水洗浄便座を取り付ける場合

# 分岐金具(給水ホース付き)を取り付ける

- ロータンクの下からの給水の場合は、止水栓と給水ホースの間に分岐金具を取り付けてください。  
(フレキシブルパイプは使用しません)

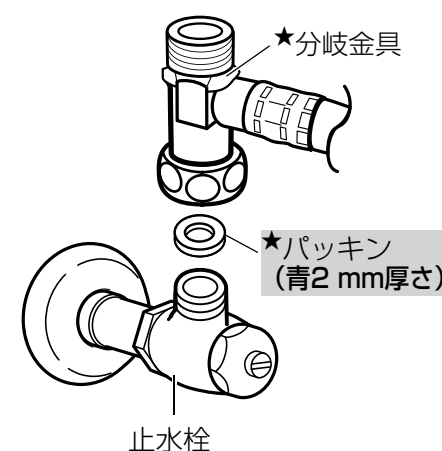
★は、同梱部品です。

- 1 止水栓が閉まっていることを確認し、給水管を外す



- 配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

- 2 分岐金具を止水栓に、取り付ける



〈分岐金具の締め付け方〉

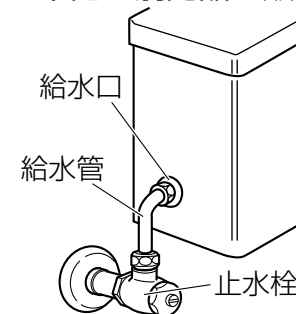
回り止めのために「プライヤー・モンキーレンチ等」の工具でこの部分を固定する



締めトルク 10~15 N・m{100~150 kgf・cm}  
指定場所以外を工具で固定したり、給水ホースを持って締め付けない

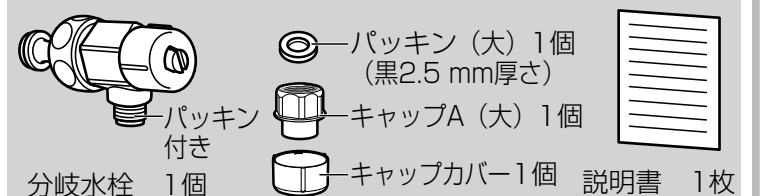
給水管が短い場合、給水管が外れない場合、給水管にストレーナー(フィルター)がある場合(外ねじタイプの止水栓の場合は取り付け可能)

下記の別売品を販売店で購入してください。

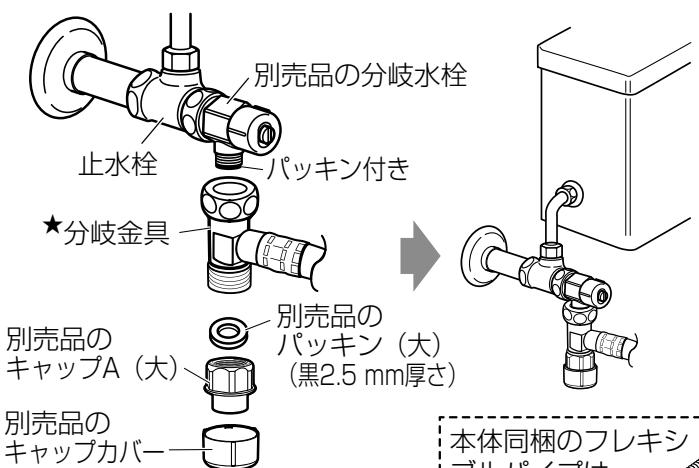


ロータンクの給水口と止水栓の間の距離が短く本体同梱の分岐金具とフレキシブルパイプが接続できない、給水管が外れない、ストレーナーがある場合は、別売の分岐水栓を下記に従って接続してください。

〈別売品〉分岐水栓・キャップセット  
(型式: HOB-DL531AB4JS)



- 1 水道の元栓を閉める
- 2 別売品の分岐水栓を取り付ける
- 3 本体同梱の分岐金具を取り付ける



詳しい取り付け方法は、別売品の説明書を参照してください

11ページ 分岐金具を取り付ける  
2 給水管の取り付け

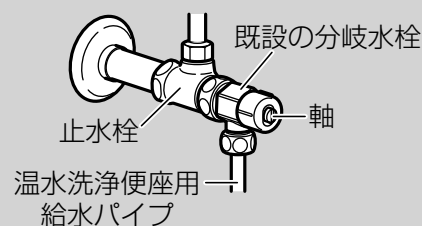
12ページ 本体を取り付ける

設置

# 分岐金具(給水ホース付き)を取り付ける

●分岐水栓がタイプ(A)の場合は、止水栓を元に戻す必要があります。専門業者に依頼してください。

## 既設の分岐水栓が 下図のタイプ(A)



### 【準備】水道の元栓を閉める

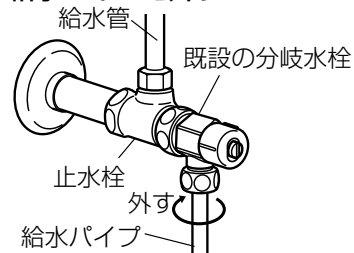
- 元栓を閉める前にガス湯沸器や洗濯機などを使用中の場合は止めてください。
- 閉栓後は近くの蛇口などで給水が止まっていることを確認してください。
- 本体取り付け完了後、全開にしてください。



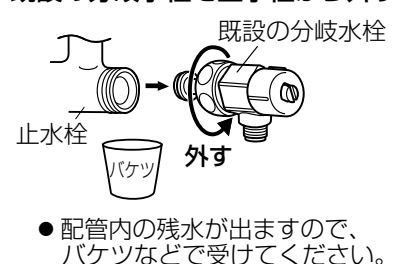
★は、同梱部品です。

## 止水栓を元に戻す場合

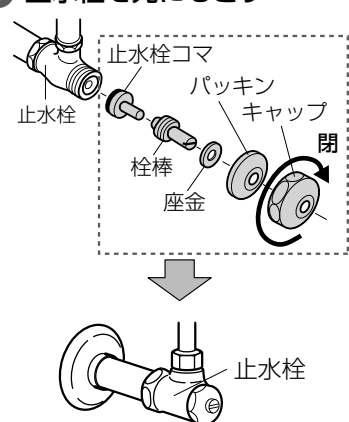
### ① 給水パイプを外す



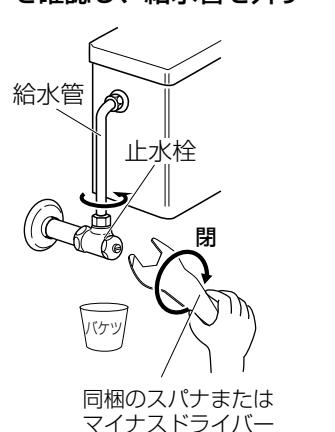
### ② 既設の分岐水栓を止水栓から外す



### ③ 止水栓を元にもどす

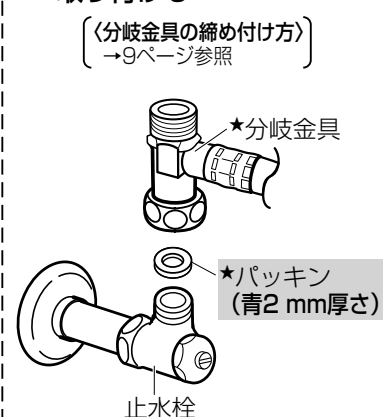


### ④ 止水栓が閉まっていることを確認し、給水管を外す



- 配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

### ⑤ 分岐金具を止水栓に、取り付ける



## 止水栓を元に戻せない場合

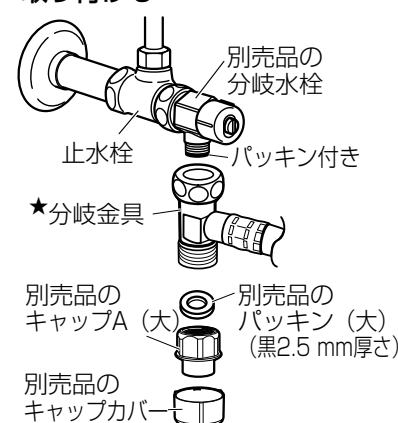
(外ねじタイプの止水栓の場合は取り付け可能)

別売分岐水栓・キャップセットを購入いただき、取り付けができます。



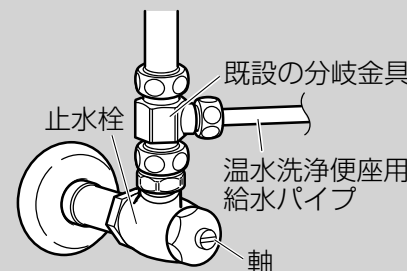
### ① 別売品の分岐水栓を取り付ける

### ② 本体同梱の分岐金具を取り付ける

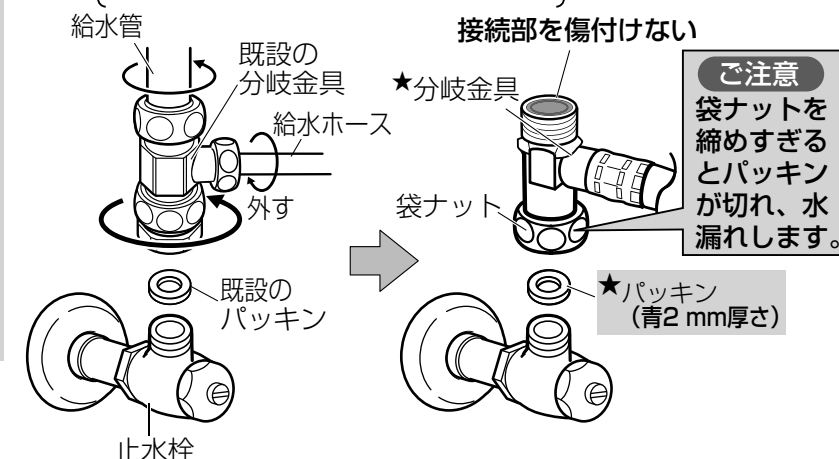


詳しい取り付け方法は、別売品の説明書を参照してください

## 既設の分岐金具が 下図のタイプ(B)



## ① 給水管を外してから、同梱の分岐金具に交換する



- 配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

## ② 給水管の取り付け

- 既に給水管がフレキシブルパイプや給水ホースで接続されている場合は、そのまま使用できます。

### 同梱のフレキシブルパイプを使用する場合

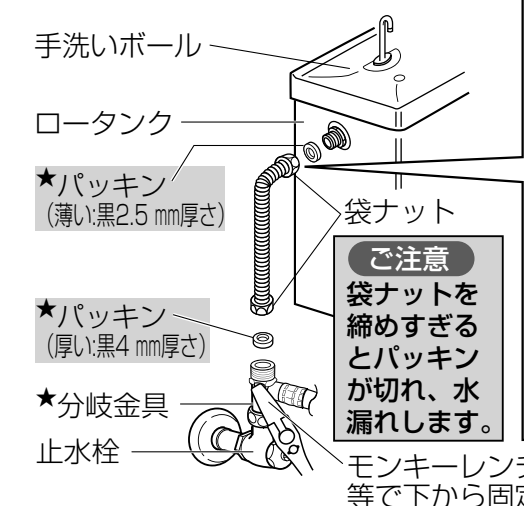
同梱のフレキシブルパイプを使用し、接続する。

約R30 mm 約40 mm 約20 mm 約130 mm

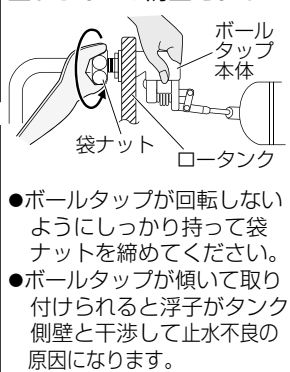
### お願い

- 曲げ過ぎない
- 何度も曲げ直さない(折れることがあります)
- 切断しない
- 長さが合わないときは、ホームセンターなどで市販品を購入してください。

〈最小曲げ形状例〉



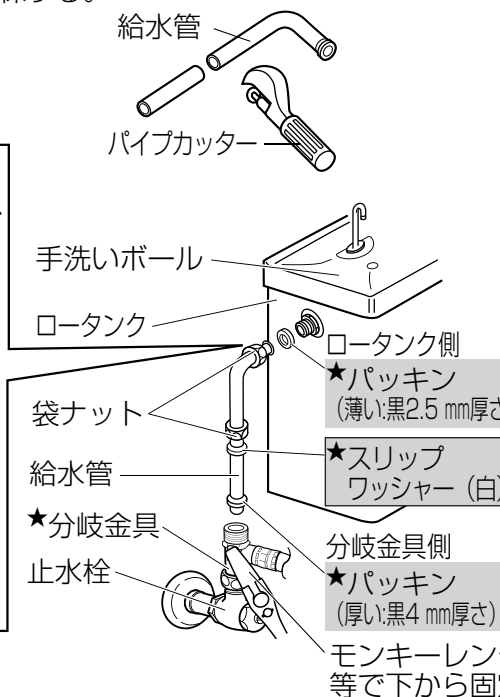
ロータンクに水が入らない、止まらないの防止をする



袋ナットを締めすぎるとパッキンが切れ、水漏れします。

### 既設の給水管を使用する場合 給水管にストレーナー(フィルター)がある場合

- 分岐金具側に給水管を接続し、ロータンク給水口にあうような長さに給水管を切断。(フレア加工している場合は、切断長さに注意)
- 分岐金具への差込代は約10 mmを必ず確保する。





# 本体を取り付ける

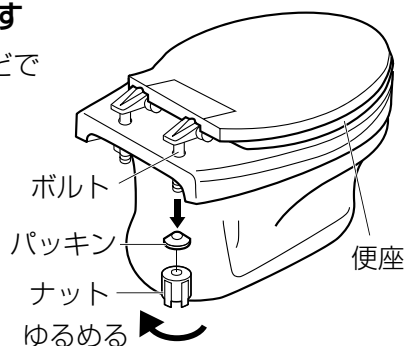
下からナット締めができる便器の場合

## 【準備】既設便座を取り外す

1. ナットをモンキーレンチなどでゆるめる。
2. ナットとパッキンを外し便座を取り外す。

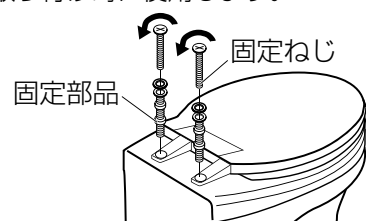
(ナットがさびてゆるまないときは)

- 市販のねじゆるめスプレー剤などでゆるめる。
- 取れないときは、金でこでボルトを切断する。



下からナット締めができない便器の場合

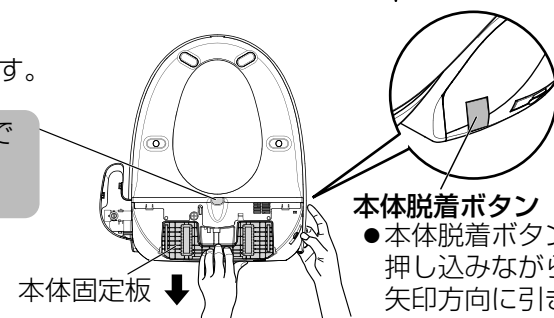
1. 固定ねじ2本をゆるめ、取り外す。
  - 取り外した固定部品、固定ねじは、取り付け時に使用します。



## 1 本体固定板を取り外す (共通)

本体裏面より本体固定板を取り外す。

ノズル収納部は絶対に押さないでください。  
(ノズルが出なくなる原因)



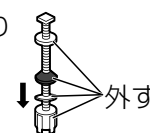
本体脱着ボタン (グレー色)

- 本体脱着ボタンを奥までしっかり押し込みながら、本体固定板を矢印方向に引き出す。

## 2 本体固定板の取り付け

(同梱の取付ボルトセット使用) (既設の部品を使用)

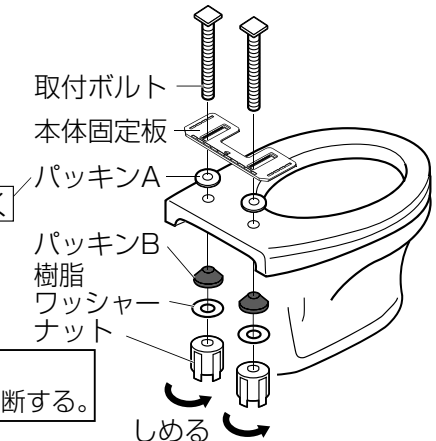
1. 取付ボルトより各部品を取り外す。



2. 右図のように取り付ける。

パッキンAは便器の上に置く

3. 本体固定板が動かない程度にナットを手で回し、仮締めする。



取付ボルトが長すぎるときは

- 金でこなどで適当な長さに切断する。

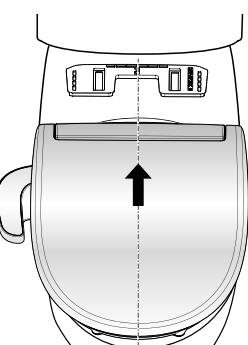
1. 位置を決め、取り外した固定部品、固定ねじを使用し、本体固定板を便器に仮締めする。



## 3 本体の取り付け (共通)

1. 本体固定板の中心と本体の中心を合わせる
2. 便器面から本体をすべらせ「カチッ」と音がするまで押し込む。

便器乗り上げ防止のストッパーと逃がし水口が便器に乗り上げないこと。(右図)  
●電源コードをはさみ込まないようにしてください。

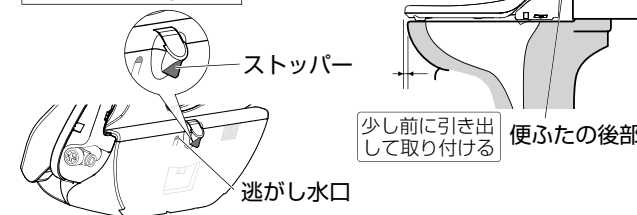


本体が便器から脱着できる構造のため、少しがたつきが生じることがありますが異常ではありません。

■便器のサイズにより、開いた便座や便ふたが倒れてきたり、便ふたがロータンクに当たる、する等のときは

⇒本体固定板のボルトをゆるめ、本体を少し前に引き出し取り付け直す。  
(引き出すときに着脱ボタンを押さない)

本体を外した裏面部



## 4 本締めする

下からナット締めができる便器の場合

ナットを手でしっかり締め付ける

お願い 工具でナットを締め付けしないでください。

下からナット締めができない便器の場合

本体脱着ボタンを押しながら本体を手前に引き出し、固定ねじをプラスドライバーで締め付ける。

本体を便器に設置後、本体を軽く手前に引っ張り、しっかり固定されていることを確認してください。

# 給水ホースを取り付ける

重要：給水ホースを正しく取り付けないと重大な水漏れの原因

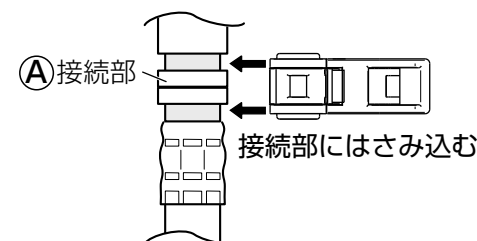
## 1 本体への接続 (作業がやりにくい場合は、本体を手前に引き出す【12ページ】)

1. 給水ホースのOリング部にゴミがないことを確認し、本体接続口にまっすぐ差し込む。

ご注意 給水ホースをねじって差し込むと、Oリングが切れるおそれがあります。

お願い 既設の給水ホースは使用しないでください。(劣化により水漏れの原因)

2. クイックファスナーを給水ホースと本体接続部に確実に奥まで差し込む。  
(「パチッ」と音がするまで差し込む)

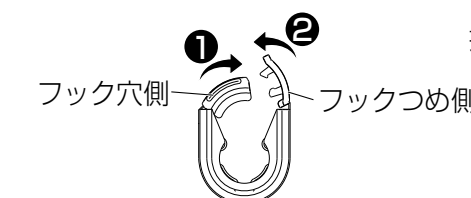


3. フックを確実に固定する

1 フック穴側を折り曲げる

2 フックつめ側をフック穴側に折り曲げ固定する

(「パチッ」と音がするまで固定する)



4. 給水ホースが回らないように持ってクイックファスナーが軽く回ることを確認する。  
※軽く回らない場合は、正しい位置に取り付けされていません。

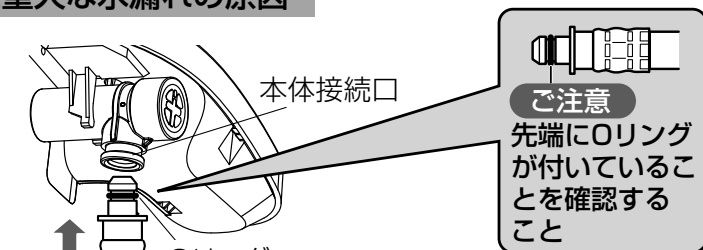
お知らせ

給水ホースが短い場合は、別売品を販売店でご購入してください。  
1350 mm用 型式：HOB-DL531-13  
2500 mm用 型式：HOB-DL531-25

別売品は、給水ホースと分岐金具が別々になっています。分岐金具側もクイックファスナーで接続してください。

## 2 必ず確認

- クイックファスナーが確実に固定されているか確認してください。
- 給水ホースを引っ張って、本体接続口から抜けないことを確認してください。



ご注意

先端にOリングが付いていることを確認すること

お願い

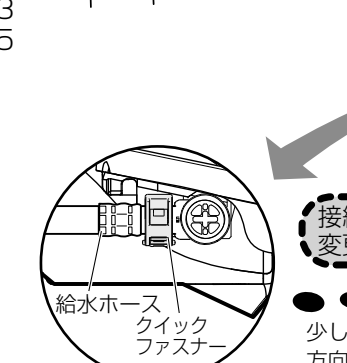
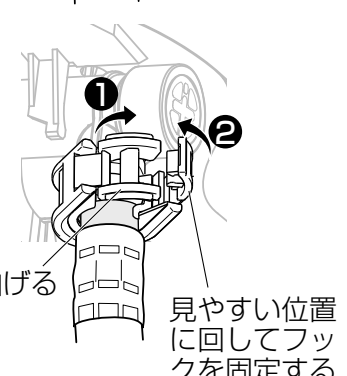
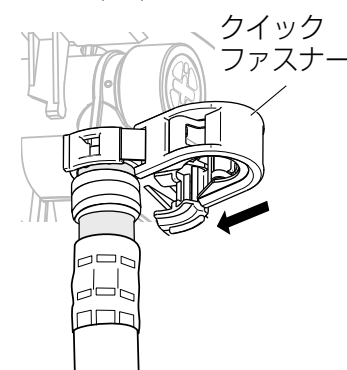
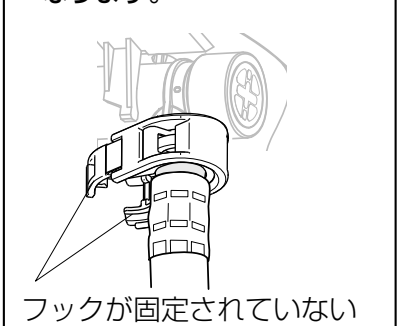
- フックが閉じないときは、A接続部に確実に奥まで差し込まれていないため、再度クイックファスナーを差し込み直してください。

ご注意

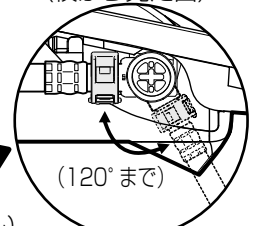
- 給水ホースは切断しない
- 給水ホースに刃物など鋭利なもので傷を付けない
- 本体接続口にOリングが咬み込まないようにまっすぐに差し込む

悪い接続例

※フックが確実に固定されていないとクイックファスナーが外れ、重大な水漏れの原因となります。



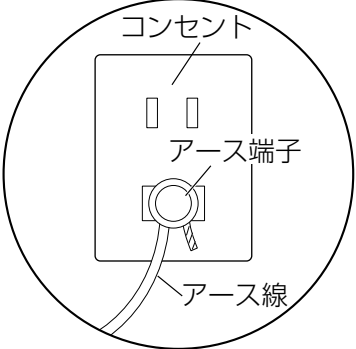
〈横から見た図〉



# アース線の接続

必ずコンセント側へ接続してください

(アース付きコンセントでない場合は、アース工事を販売店にご依頼ください)



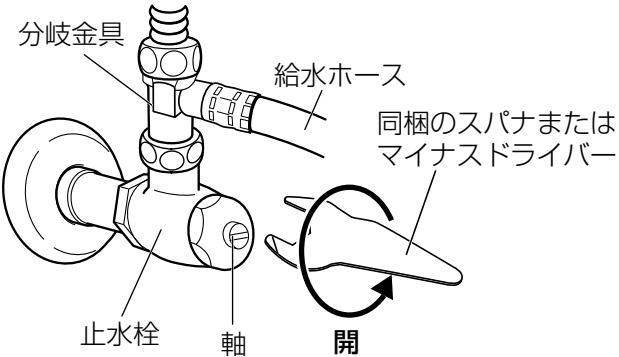
上図はアース付きコンセントの一例です。

# 止水栓を開ける

各接続部が確実に接続されていることを確認してください。

- 水道の元栓を開めた場合は十分に開けてください。
- 手洗いボールから水があふれたり、飛び散らない程度にまたは、洗浄中の通水音が気にならない程度に止水栓の軸をゆっくり開けてください。

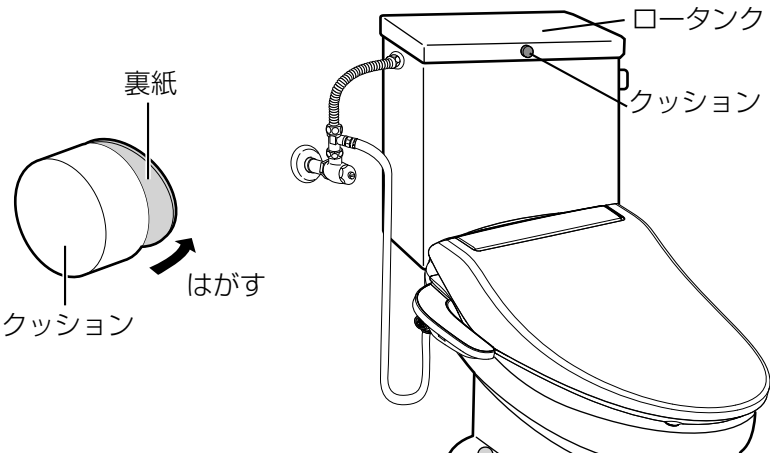
十分に開いていないと低流量異常（温水ランプが全点滅）が発生する場合があります。



# クッションを取り付ける

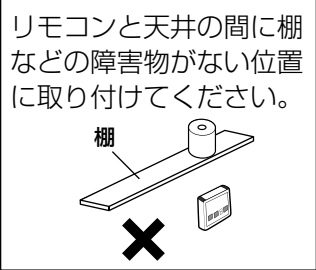
便ふたがロータンクに強く当たる場合は同梱のクッションを右図を参考に貼り付けてください。

- 貼る前に、汚れ、水分などを拭き取ってから貼り付けてください。



# リモコンを取り付け、電源を入れる

- 本体の受信部側の壁などに取り付けることをおすすめします。黒い天井や壁などでは、リモコンからの送信を本体が受信しにくい場合があります。
- リモコンを固定する前にリモコンと本体が送受信していることを確認してください。



## 1 リモコンの電池ふたを開け、乾電池を入れる

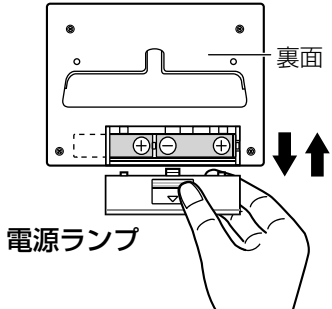
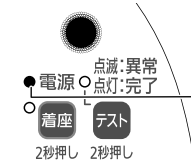
■ 乾電池の破裂や液漏れを防ぐために安全上のご注意【2ページ】を必ずお守りください。

## 2 電源プラグを差し込み、リモコンと本体の送受信確認をする

- ① 電源プラグを差し込む
  - 本体の電源ランプが約10秒間点滅後、点灯する。
- ② リモコンを壁面の取り付けたい位置に合わせ、約10分以内におしりまたはビデスイッチを押す
  - 本体の電源ランプが1回点滅と同時に本体から「ピピピ」と音がします。（ただし、着座スイッチが検知している場合は「ピッ」と音がします）

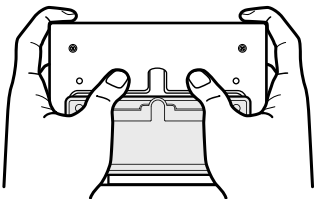
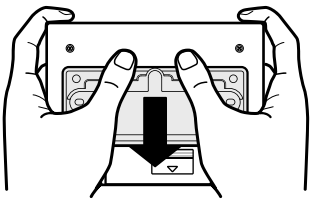
送受信可能な位置です。

- ◆ 電源ランプが1回点滅しない場合は、電源プラグを差し込み直して取り付け位置を変更してから再度、送受信確認をしてください。



## 3 リモコン（リモコンホルダー）を壁面に取り付ける

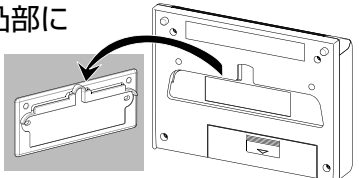
- ① リモコンからホルダーを外す
  - ホルダー上を指で押さえながら下方向にずらして外す。
- ② ホルダーを壁面にねじで取り付ける



A.ねじ止めできる壁材	B.ねじ止めできない壁材
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各種合板</li> <li>● ビニールクロスなど</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● タイル・コンクリート</li> <li>● 石こうボードなど</li> </ul>
● ねじ2本で壁面に取り付ける	① 壁面に下穴をあける (直径 5.8 mm 深さ 35 mm) ② 樹脂プラグを差し込む

※1 石こうボードの厚みは13 mm以上を想定しています。13 mm以下の石こうボードでは同梱の樹脂プラグでは安定しない場合があります。市販の石こうボード用プラグをお買い求めください。

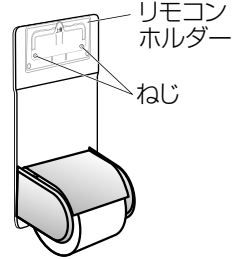
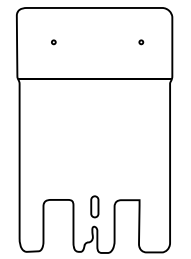
- ③ リモコン裏面の溝をホルダー凸部に合わせて上から差し込む
- ④ リモコンが取り外せることを確認する  
(電池交換が必要なため)



## ねじ止めできない場合

別売品のリモコンプレートでペーパーホルダーに取り付けできます。販売店でご購入してください。ただし、2連式のペーパーホルダーには取り付けできません。

別売品リモコンプレート  
型式：HOB-DLRCP1-F



詳しい取り付け方法は、別売品の説明書を参照してください

取付



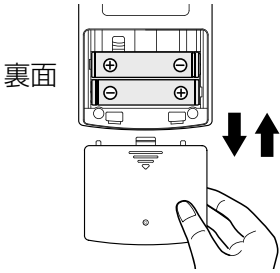
# 人体センサーを取り付ける

■トイレのパターンに合った位置に取り付ける(トイレの扉と便器の位置関係により異なります)

- 人体センサーは人(発熱体)の動きを検知し、便ふたの開閉を自動で行います。

① 人体センサーの電池ふたを開け、乾電池を入れる

■乾電池の破裂や液漏れを防ぐために安全上のご注意【2ページ】を必ずお守りください。



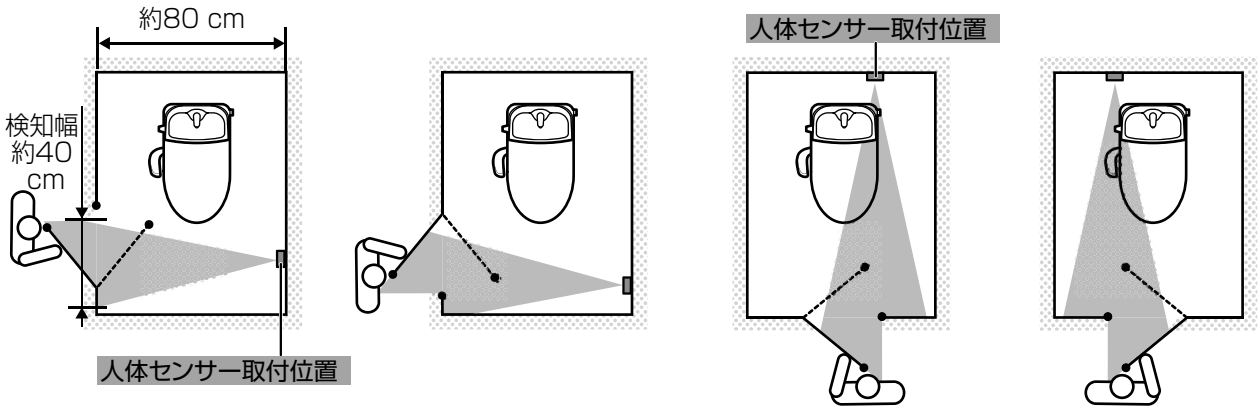
② 取付位置を選ぶ(下図参照)

〈トイレのパターン別、取付位置例〉

- 人体センサーを正しく作動させるために、トイレ内に入った時、人を確実に検知する位置に取り付けてください。人体センサーが人を検知すると本体から「ピッ」という受付音がします。
- 人体センサーと天井の間に棚などの障害物がない位置に取り付けてください。
- 人体センサーを便座の方向に向けて取り付けると誤作動する場合があります。

扉の対向面の壁に取り付けてください。(扉が引き戸の場合も同様)

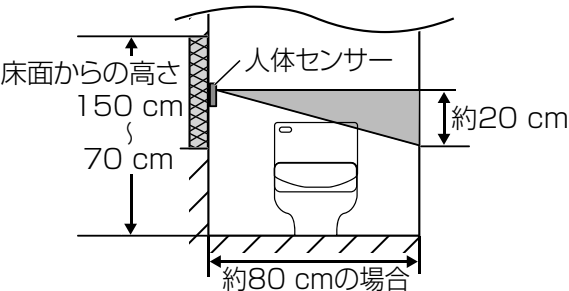
- トイレの幅が約80 cmの場合、人体センサーの検知幅は約40 cmになります。



〈取り付け高さ〉(どのパターンでも共通です)

- 取り付けするのに適した範囲です。
- 人体センサーの検知範囲の目安です。

- ご使用になる方の身長に合わせて、取り付け高さを決めてください。



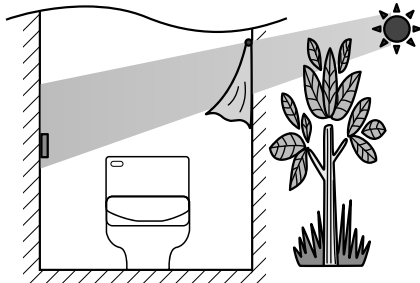
ご注意

次のような場所に取り付けるのは避けてください。

- 直射日光の当たるところに取り付けた場合、カーテンや窓の外の本々の揺れで、直射日光がさえぎられると、誤作動することがあります。
- トイレで暖房器具などを使用すると、人体センサーが温風の熱を検知して誤作動することがあります。

お知らせ

- 人体センサーが人を検知すると、便座の暖房を開始します。室温が30℃を超えたり直射日光が当たったりすると作動しないことがあります。(人と周囲の温度差が少ないときは、熱の変化を検知しにくい)



③ 人体センサーと本体の送受信確認をする(位置決め)

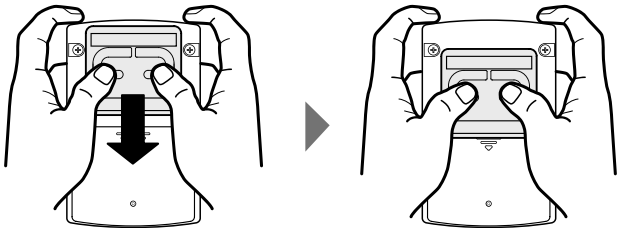
- ①本体操作部の便ふた自動開閉スイッチが「入」になっていることを確認する
- ②便ふたを閉じ、一旦トイレから外に出る
- ③1~2分以上経過後、トイレに入り、便ふたが開くことを確認する

お知らせ

- 人体センサーが人を検知すると、本体から「ピッ」と音がします。

④ 人体センサーホルダーを壁面に取り付ける

- ①人体センサーからホルダーを外す
  - ホルダー下を指で押さえながら下方向にずらして外す

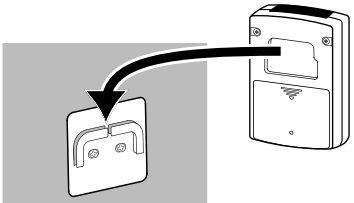


- ②ホルダーを壁面に取り付ける

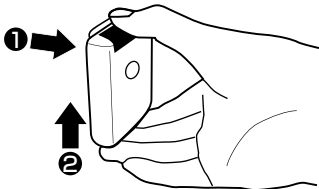
A.ねじ止めできる壁材	B.ねじ止めできない壁材	ツルツルで固い平らな壁材(タイル)
●各種合板 ●ビニルクロスなど	●タイル ●コンクリート ●石こうボードなど 「注意」※1	●壁に貼り付けた両面テープを剥がすと壁材を剥がすおそれがあります。 ●表面がザラザラした壁面や凹凸がある面(クロスなど)に取り付けると人体センサーが落ちる場合があります。
●ねじ2本で壁面に取り付ける	①壁面に下穴をあける (直径 5.8 mm 深さ 35 mm) ②樹脂プラグを差し込む	両面テープ(ホルダー裏面)

※1 石こうボードの厚みは13 mm以上を想定しています。13 mm以下の石こうボードでは同梱の樹脂プラグでは安定しない場合があります。市販の石こうボード用プラグをお買い求めください。

- ③人体センサー裏面の溝をホルダー凸部に合わせて上から差し込む



- ④人体センサーが取り外せることを確認する(電池交換が必要なため)



人体センサーの上部を手前に引きながら上に引き上げる

# 試運転

- 1 水道の元栓、止水栓が開いていることを確認する  
(十分開いていないと洗浄強さが得られないことがあります)  
給水接続部から水漏れがないことを確認する

- 2 本体梱包用のポリ袋などを便座と便器の間にはさむ  
(水の飛び散り防止のため)

- 3 電源プラグが差し込まれていることを確認する

- 4 漏電テストスイッチを2秒以上押す  
漏電検知機能が作動し、電源が切れます。

- 漏電テストランプ (赤) 点灯。
- 電源ランプ (緑) 消灯。

- 5 電源プラグを抜く  
● 漏電テストランプ (赤) が消灯することを確認する。

- 6 電源プラグを差す  
● 電源ランプが約10秒間点滅後、点灯に変わります。

- 7 便座の左後部を押しながら (着座ランプ点灯)  
リモコンの または を押す

- 着座検知し、脱臭が始まります。  
(作動音がします)
- ノズルを洗浄し、約10～20秒後に洗浄水が出ます。(着座検知していないと「ピピピ」と音がし、洗浄水が出ません)  
\* 止水栓を閉じたまま手順7を行うと、洗浄水が出ず、ノズルが戻ります。止水栓を十分開いてから手順7を行ってください。
- ポリ袋の上から手を当て温水がでることを確認してください。  
(温水が出ない場合は、温水温度スイッチで設定温度を切り換えてください)

- 8 リモコンの を押す

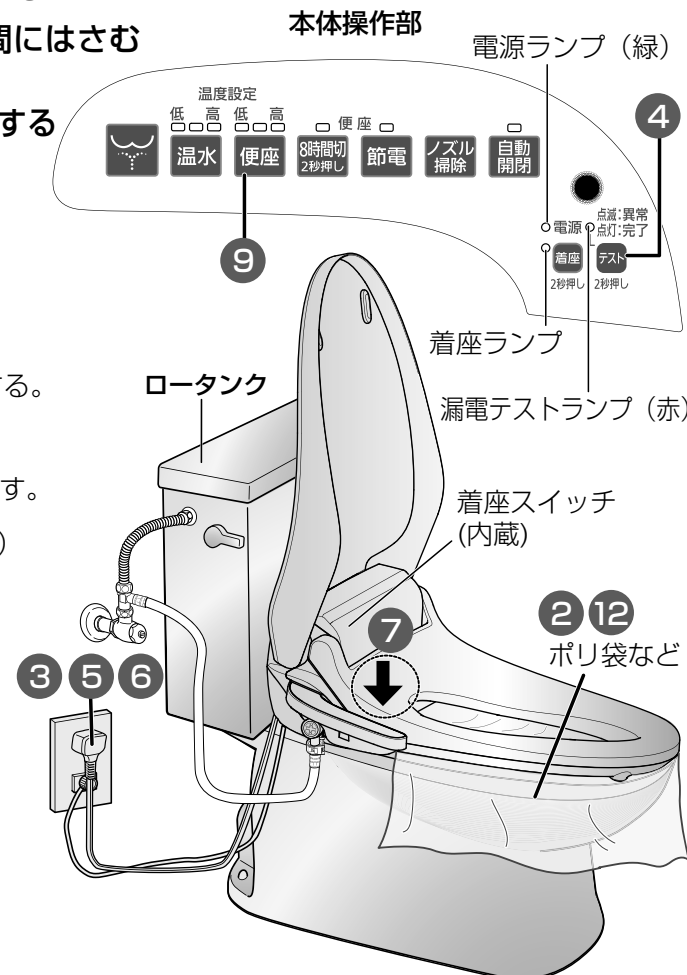
- ノズルが戻ってから、ノズルを洗浄する水が出ます。
- 便座の左後部から手を離すと、約1分後に脱臭が停止します。

- 9 便座温度が設定されてることを確認し、約5分待つ

- 10 便座を手で触り、あたたかくなっていることを確認する

- 11 取扱説明書に従って、おしり・ビデ洗浄など機能の確認をする

- 12 ポリ袋を外す

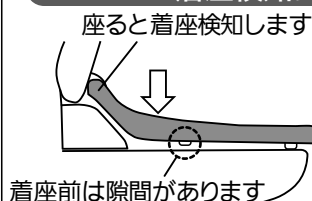


## 水圧調整の逃がし水について

- ノズルの左 (逃がし水口) から出る水は水圧調整の逃がし水で故障ではありません。逃がし水口が便器面でふさがったとき、水が便器内に流れないときがあります。この場合は、本体を少し前に引き出して取り付け直してください。(12ページ)



## 着座検知について



便座の後ろ脚と、前の片側の脚が浮いている状態が正常です。この浮き (隙間) がないと座ったときに着座検知しません。

## お知らせ

- 漏電テストランプが点滅する場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、工事店または販売店へ連絡してください。
- 便ふたや便座の上から押さえると、着座ランプが点灯し、脱臭が始まります。また、その状態で洗浄スイッチを押した場合、洗浄水が出ます。

# こんなときは

現象	考えられる原因と処置方法		参照ページ
本体操作部の温水温度ランプが全点滅する 	● 水道の元栓、止水栓が十分に開いていない ● 止水栓を開にする前に電源プラグをコンセントに差し込んだ	水道の元栓、止水栓を十分に開き、電源プラグを差し直し、その後、再度試運転を行う	18
洗浄水が出ない 洗浄強さが弱い	水道水フィルターが つまっている 	掃除する	取扱説明書
ロータンクの水が入らない、止まらない	水道の元栓が全開になっていない 止水栓が十分に開いていない ロータンクに給水中	水道の元栓を全開にする 止水栓を十分に開く 水が貯まるのを待つ	10 14 —
手洗いボールから水はねする	ロータンク内の浮子が ゆがんでいる	浮子がゆがまないように 袋ナットを締め付け直す	11
通水音 (シュー) がする	水圧が高く給水量が多い	止水栓を適量に絞る	14
接続部から水漏れする 	給水ホース先端の Oリングにゴミが 付着  ナットの締め付け力が不足 締め過ぎによるパッキンなどの ずれ	Oリングのゴミを取り除く 増し締めする ずれをなくす	13 — 11
電源が入らない 	クイックファス ナーの差し込み 不足やずれ  フックが固定されていない	確実に固定する  軽く回ること	13
電源が 入らない 	テストスイッチを押した などで漏電検知機能が 作動 (本体の漏電テスト ランプが点灯)	電源プラグを抜き 漏電テストランプが 消灯してから電源プ ラグを差し込む 	18
人体センサーが 検知しない 	● 人がいても体の動きがない ● 電池の入れ忘れ	● 体を動かしてください (センサーは熱の変化を検知する) ● 電池を入れる	16~17
天井までの仕切壁のない連なっているトイレで2台以上設置の場合、リモコンで操作したときに他の本体が誤作動する		取扱説明書の「ご相談窓口」にご連絡ください	

## 設置後の注意

凍結するおそれのある場合や長期間 (1週間以上) 使用しない場合は、水抜きをしてください (取扱説明書「凍結予防・長期間使用しないときは」参照)